教職員等記章
（平成15年4月導入）

学校から家庭へ、地域から地域へ、そして世代から世代へ。
いろいろな“学び”の姿をお伝えする教育プレス。保護者の皆さんへ教育のあれこれをお知らせします。

ばとん・ぱす

熊　本　県　教　育　広　報　誌

熊本県教育委員会

vol.54

熊本県教育庁教育政策課
令和２年（2020年）11月

ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を実践しています

熊本県立湧心館高等学校全日制

ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業って何？

すべての生徒にとって分かりやすいように指導や支援を工夫した授業のことです。

授業でどのような工夫をしているのか教えて。

授業づくりの工夫を「湧心館高校スタンダード」として整理し、全職員で授業改善に取り組んでいます。取組の一例を紹介します。

「湧心館高校スタンダード」授業づくりの工夫

授業が分からない！



目標等の提示（見える化）の工夫

授業の流れと目標を生徒に明確に示し、本日学ぶ授業を「見える化」します。



情報伝達（視覚化）の工夫

視覚的な情報（具体物・動画・写真）を活用し、分かりやすさや思考の深まりにつなげていきます。



授業形態（共有化）の工夫

グループ活動の場面を取り入れて、生徒相互に学び合うことで、理解や考えの深まりを図ります。



授業の見通しがもてて分かりやすい！



言葉による説明だけでなく、具体物や動画があると分かりやすい！



学び合いって楽しい！
授業が分かる！

この記事に関する問い合わせ先：特別支援教育課　096(333)2683

「くまもと教育の日」の取組期間中です！

熊本県教育委員会は、平成17年（2005年）に11月1日を「くまもと教育の日」と定めており、11月1日の前後1か月（10月1日～11月30日）の間は、県内全域で各種教育活動が実施されています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で例年のような活動を実施するのは難しい状況ですが、お住まいの地域や学校等で公開授業や学習発表会等が開催されていますので、身近な地域の教育に触れる機会としてください。

県関係の催しを1つ紹介します。10月30日（金）から11月4日（水）にかけて、熊本市植木文化センターにおいて、前号に掲載した「熊本県科学研究物展示会（第80回科学展）」を開催しました。期間中、約800人の方々が来場され、素晴らしい研究作品の数々に触れていただく機会となりました。現在、県立教育センターのホームページでは、オンラインでの特別講演会も配信中です。また、後日研究作品の閲覧も可能になります。

ぜひアクセスを！

（https://www.higo.ed.jp/center/kagakuten）



この記事に関する問い合わせ先：教育政策課　096(333)2699



熊本の未来の創り手となる子供たちの学びの姿を公開します！
～「熊本の学び」研究指定校の公開授業の紹介～

「熊本の学び推進プラン」の取組を具体化し、実践事例として示すために、令和2年度からの2年間、3つの中学校を「熊本の学び」研究指定校としています。指定初年度である今年度は、公開授業を通して研究の概要と授業研究の成果を発表します。

県内の先生方は、「熊本の学び」を共に考える機会になるので、ぜひ参加されてください。なお、参加申込み方法については、各研究指定校のホームページを御覧ください。

また、「熊本の学び」では、子供を中心に、学校、家庭、地域に行政を含めた「五者」で連携した取組を大切にしています。保護者の方々におかれましては、今後も県内の各学校における取組への御理解と御協力をお願いします。

キャリア教育研究

大津町立大津中学校

期日
令和2年11月27日（金）から
研究テーマ
自らの未来を切り拓く力を身につけた生徒の育成
公開方法（予定）
オンライン配信
＜録画＞



学力向上プロジェクト研究

天草市立本渡中学校

期日
令和2年12月1日（火）
研究テーマ
自ら「学び続ける力」の育成
公開方法（予定）
直接参加（天草管内の先生）
オンライン配信（天草管内以外の先生）
＜生放送＞

学力向上プロジェクト研究

八代市立第一中学校

期日
令和3年1月28日（金）
研究テーマ
「学びに向かう力」を備えた子供の育成
公開方法（予定）
オンライン配信
＜生放送＞



この記事に関する問い合わせ先：義務教育課　096(333)2688

文学・歴史でたどろう！“くまもとの記憶”
～くまもと文学・歴史館より～

「くまもと文学・歴史館」では、熊本の文学や歴史に関する本物の資料を紹介しています。興味がわけば、隣接する熊本県立図書館で調べられます。文学館、歴史館、図書館が一ヵ所にまとまった全国でも珍しい施設。ちょっとした知的な時間を過ごしませんか。



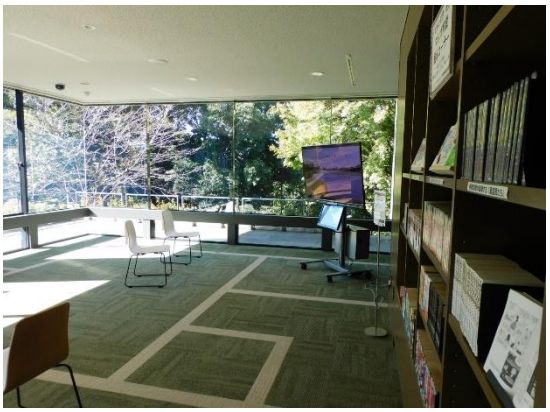
～ 熊本の文学・歴史に関する収蔵品を展示～

展示室１では、熊本ゆかりの文学者の原稿や遺品、古文書や県関係公文書などを紹介する収蔵品展「アーカイブズに見るくまもと」を行う他、年３回の企画展を開催しています。



～熊本の文学の流れを大型パネルで紹介～

展示室２では、近世から現代までの熊本の文学の流れを、歴史的背景とともに収蔵資料やパネルで紹介します（企画展開催時はご覧いただけない場合もあります）。夏目漱石の書簡などの収蔵資料を大型タッチパネルで公開しています。



～映像ギャラリー、漫画読み放題コーナー～

展示室３では、熊本の文学・歴史に関する映像ギャラリー、展示会のテーマに沿った漫画読み放題コーナーなどが常設されています。かつて当館の敷地に建っていた旧砂取細川邸に付属する庭園を望むことができます。



～ 周辺を歩くと ～

江津湖周辺は、江戸時代は細川の殿様が鷹狩りや花火を楽しんだ保養地でした。明治時代には夏目漱石など多くの文学者が訪れ、舟遊びを楽しみました。近くの川のせせらぎを聞きながら歩くと、句碑・歌碑とも出会えます。

この記事に関する問い合わせ先：熊本県立図書館　096(384)5000

歴史公園鞠智城（きくちじょう）を探検してみませんか

鞠智城は、今から約 1350 年前の飛鳥時代（665～667 年頃）に大和政権が国を守るために築いた古代山城の一つです。山鹿市と菊池市にまたがり、周囲 3.5 ㎞、面積は 55ha にもなります。古代山城では国内初となる八角形建物の遺構や、歴史的に貴重な遺物が見つかり、復元建物や遺構表示など様々な形で公開しています。広い城内を散策するのにちょうどよい季節になってきました。今回は見どころの多い鞠智城の魅力の一部をご紹介します！



鞠智城のシンボル！

八角形鼓楼（ころう）

太鼓をたたいて時を知らせたり見張りをする場所だったと考えられています。
八角形の建物は日本全体を見てもほとんど発見されていないとてもめずらしいものです。
ころう君の名前の由来にもなっています



魅力的な散策路

地域の木材を使った木桟道や木チップを敷き詰めた散策路はウォーキングを楽しむことが出来ます。



土塁（どるい）の上を探検！

「土塁」は、城を守るために土を突き固めて作られた壁です。土塁の上を探検気分で歩くことが出来ます。

鞠智城 1 番の絶景スポット！

灰塚（はいづか）

灰塚は標高 165mにあり、360 度を遠くまで見渡すことが出来、のろしを上げるのにピッタリの場所です。灰塚という名前は、のろしを上げたあとに残った灰から名付けられたと考えられます。



この記事に関する問い合わせ先：歴史公園鞠智城　温故創生館　0968(48)3178

編集・発行：熊本県教育庁教育政策課
〒862-8609　熊本市中央区水前寺６丁目 18 番１号
Tel：096(333)2699　　Mail：kyouikuseisaku@pref.kumamoto.lg.jp
☆本誌に対するご意見やご感想はお気軽にどうぞ☆